

小田切海洲 （あきづり） 民権運動家。弘化二年十一月一日、甲斐國生れ、明治二十六年四月九日歿（一八六―一九二）。諱謙明、字伯卿、幼名小太郎、通稱八右衛門。協勸義塾を設けて教育に従ひ、自ら儒者渡井夢南に就き學ぶ。更に同志を謀りて進徳社を興し、子弟の養育に努むた。明治十二年夢南等と『觀風新聞』を創刊、西園寺公望等の『東洋自由新聞』と呼應して自由民権説を鼓吹。また國會開設護願運動にも主導的役割を果した。自由黨成立後はその常議員に擧げられ、十二年公は政中と立憲黨を組織。翌年静岡に精水會社を創設するほど産業界にも足跡を残した。

蘆洲村松志孝編『小田切海洲先生畧傳』（昭和十一年十一月二十五日山梨・海洲小田切謙明先生頌徳會）がある。

